

# ボックス型倉庫 一棟借り

## 神奈川・東京西部 運行距離を短縮

### 拠点分散し配送効率化

【神奈川】小山企業(小山嘉一郎社長、埼玉県戸田市)は、配送拠点を分散させ、配送の効率化を図っている。6月に神奈川県愛川町に厚木サービスセンターを開設。保管機能と神奈川県内への配送機能を持たせ、神奈川や東京の西部エリアへの運行距離を短くする。

(宮崎茉莉奈)

### 小山企業

### 「24年問題」対応へ

開業以来、埼玉県南部、東部を中心に倉庫業を拡大し、営業倉庫を軸に東京、埼玉、神奈川、千葉の関東1都3県を網羅した日用品の配送を行う。今回、「2024年問題」も念頭に、神奈川県西部に新たに拠点を設けることで、厚木市や八王子市などへの2次輸送の運行距離を短縮し、配送の効率化を進める。

シーアールイーが保有する4階建て、延べ床面積1万8200平方メートルのボックス型倉庫を一棟借りした。23年3月に竣工し、大型トラック15台が同時接車可能なトラックバスとトラックが5台駐車できる待機場所を完備する。

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)・相模原愛川インターチェンジから3・3キロに位置し、神奈川県内の配送だけでなく、関東と関西の中継地点として立地に優れる。全フロアの梁下有効高は6メートルと保管効率に優れ、電動移動トラックを導入して作業の効率化を図る。

サービスセンターにグループ企業の機能を集結。運送事業を営むグループ会社

のルートゲッター(同)の厚木営業所も入居している。神奈川県エリアの配送拠点の中核にする。人材サービスを展開する小山産業(同)も入り、現地で作業員を確保する。

小山社長は「『2024年問題』対応で、当社は配送拠点を分散させている。神

奈川県には川崎市川崎区に配送拠点を設けたが、西側内陸部の愛川町に開設することで県西部をカバーできる。また、愛川町は西東京にも視野を向けられる。これにより2次輸送の運行距離を短くし、効率化できると考えている」と話している。